

大石田そば街道

おSOBAに珈琲 できました。

おSOBAに珈琲

(通称：そばコーヒー)は、来迎寺在来(そば)とブラジルコーヒーを合わせて抽出した新しい飲み物！

コーヒーと大石田って関係あるの??



水野 龍
Ryo Mizuno



Came Across
1905



鈴木貞次郎
Teijiro Suzuki

関係
あるよ

山形県大石田町とブラジルコーヒーの出会いは
今から100年以上も昔に遡ります。

1905年、大石田町出身の鈴木貞次郎は
南米チリを目指し、横浜からペルー行きの船に乗りました。
船中で鈴木は移民導入契約を結ぶためブラジルを目指す水野龍
(株式会社カフェパウリスタ初代社長)と出会い意気投合。
行き先をブラジルへ転向し、日本人で初めての
コーヒー耕地入植者となったのです。

1908年、第一回日本移民船「笠戸丸」の移民団長として水野が
サントス港に着いたとき、移民収容所の書記となっていた
鈴木が出迎えています。

鈴木は入植者の世話をしながら自らも労働に従事し、
着実に移民定着の土台を築いていったのです。

一方、水野はサンパウロ州政府から東洋での
ブラジルコーヒーの一手宣伝販売権を受け
1911年、東京銀座にカフェパウリスタ銀座喫店を開業しました。

以来100年の時を越えて、
ブラジルコーヒーと大石田そばが新たな出会いを果たしました。

時を越え、海を越えた運命の味わいをお愉しみください。



ブラジル珈琲
Brasil Coffee



大石田そば
Oishida Soba



2017

来迎寺在来

鈴木貞次郎が海を越えコーヒーに出会った昔、
大石田に伝来したのが「来迎寺在来」です。
100年の歴史を越えて大切に受け継がれ、
大石田そばの看板品種として愛されています。

2017年10月28日(土)より提供開始!

大石田町内の協力各店にて

大石田そば街道振興会
協力：銀座 カフェパウリスタ

【画像提供：国立国会図書館】